

OPEN! セルブ 特集

お久しぶり13号

特集

本特集では、セルブ製品を購入できる場所と団体の情報について、発信するコーナーです。

★ MO-YA-CO
UNIQUE PRODUCT!

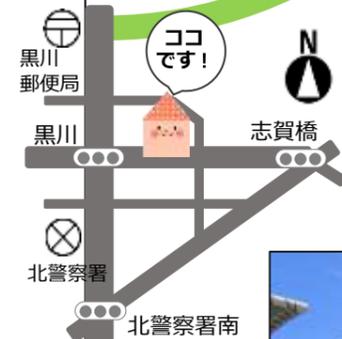
4月 OPEN!

障がいのある人たちと一緒に作るおやつと雑貨のお店です。福祉事業所パイに通う人たちの几帳面な手仕事や個性溢れる創作を、商品というカタチでお客様にお届けします。ショップの他、マルシェやデパート催事などにも出店を行っています。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

- 営業日：月～金曜日（お盆、年末年始を除く）
- 営業時間：10時～17時 ○ HP：http://mo-ya-co.info/



店の外観(左)と店内(右)。焼き菓子、プリン、アート雑貨や野菜などを販売しています。



◆店舗情報◆
**MO-YA-CO
 UNIQUE
 PRODUCT!**
 〒462-0842
 北区志賀南通 2-51
 電話：508-6970
 FAX：981-8808

ちいきほっとニュース

第37号

発行
 北区社会福祉協議会
 〒462-0844
 北区清水四丁目17-1
 北区在宅サービスセンター内
 電話：915-7435
 FAX：915-2640

「自分だけではできないことでも誰かに助けてもらい、自分ができることがあれば進んですることで、できることがある」
 個人の事だけでなく、グループや組織でも同じで、お互いができることをすることで、難しいな、できないなと思っていることができることがあります。そんな時に、協力することってすごいことだと実感します。

私にできてあなたにはできないこともあり、あなたにできて私にはできないことでもあります。だから、ともに力を合わせれば、素晴らしいことができるのです

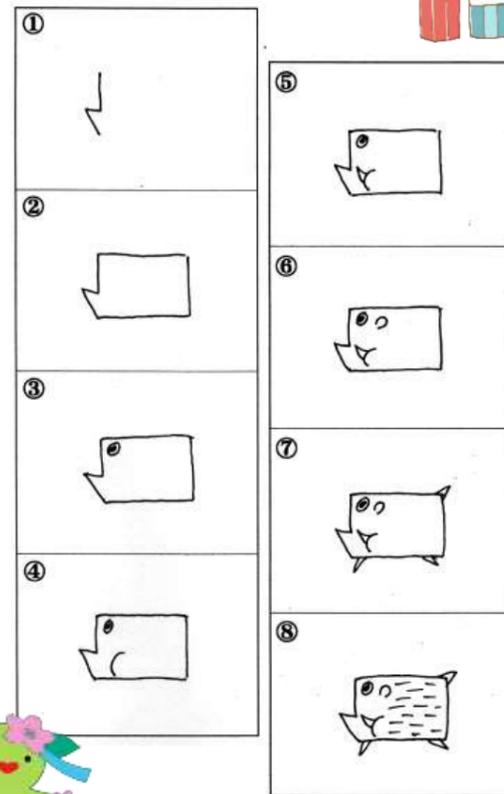
マザーテレサ

第26回私の好きなことばリレー

北区西部いきいき支援センター
 主事 横井 詩津子 さん

これであなたもお絵かき名人！ お絵かき辞典 コーナー ～その6～

自分で絵を描くのが苦手でも、順番に書いていけばステキな絵が完成します。桶学区にお住まいの桶三郎さん(ペンネーム)によるお絵かき辞典です。第6回は、いのししです。



防災まめ知識

～その21 警視庁警備部災害対策課ツイッター①～

～南海トラフ巨大地震がやってくる!? 私たちにできること その21～

■ 警視庁警備部災害対策課ツイッター※をご存知ですか？【引用：「警視庁HP」】

『警視庁警備部災害対策課』が発信しているツイッターをご存知ですか？。ツイート総数（発信の数）は2000以上、フォロワー数（購読者）は約80万人と大人気で、親しみやすくお役立ち情報満載です。今号では、「災害対策課ツイッター」で多くの「いいね」を集めたツイートをご紹介します。

※ツイッターとは：1回につき140文字までのテキスト（＝ツイート）を投稿するもの。

◆ペットボトルで簡単ランタン（2017年2月28日配信）

皆さん、お持ちの非常持ち出し袋に懐中電灯は入っていますよね？一工夫してランタンに替える活用術。懐中電灯の上に水を入れたペットボトルを乗せるだけで、光が乱反射して周りを照らすことができますよ。懐中電灯が小さい場合はコップに入れてやってみてください。火を使わないので安全です。

◆10円玉で袋を簡単に開ける方法（2017年10月24日配信）

出先でお菓子の袋などを開けるのに、素手ではなかなか開けられず困った経験はありませんか？そんな時は10円硬貨2枚を使って簡単に開けることができます。硬貨で袋を挟み込み、スライドさせると簡単に開けることができます。避難所等でハサミが無い時などは知っておくと便利です。

◆簡易ハエ取り器を作ってみた（2017年8月14日配信）

夏場の避難所では、衛生管理が重要ということで、東京都発行の『東京防災』にも紹介されている簡易ハエ取り器を作ってみました。日本酒70cc、酢50cc、砂糖100グラムをペットボトルの中で混ぜ、ハエの進入口を開ければ完成です。もしもの避難所生活に備えて覚えておく役に立つかもしれません。

・警視庁警備部災害対策課の公式アカウント https://twitter.com/MPD_bousai

暑さも吹き飛ばす
金城サマーコンサート開催!

雨上がりの晴天のなか、重症心身障害児者施設ティンクル名古屋1階多目的室・交流ホールにて6月8日(土)14時から、金城サマーコンサートが開かれました。

約180人の歌声でホール全体を埋め尽くしたこのコンサートは、金城学区老人クラブ連合会主催のもと、金城区三丁目自治会会長の伊藤勲さん中心に企画・実施に至りました。

「若園大正ロマンクラブ」が奏でる大正琴の音色に始まり、「マンドリンアンサンブルMOE」による懐かしのメロディー、人々は時に聞き入り、時に大きな声で合唱して楽しんでいました。その後は大府市楽友協会管弦楽団の弦楽器部門で構成された「大府オケ室内アンサンブル」による演奏。最後には「マンドリンアンサンブルMOE」と「大府オケ室内アンサンブル」の合奏でフィナーレをむかえました。

昨年度も住民同士のつながり作りのために取組みを実施している伊藤さんですが、来年度以降もこの取り組みをさらに発展させ実施していくとの意気込みが感じられました。



コンサートの様子

地域イベント情報大募集! お電話(☎ 915-7435)お待ちしております。

楽しいイベントもたくさん(^o^)/

イベント情報・募集

北区の様々なイベント情報を掲載するコーナーです。掲載依頼、問合せは、下記連絡先まで

☎ 915-7435
Fax 915-2640

社会福祉法人 楠福社会 あじま作業所
● であい・ふれあいバザー ●

▽日時 11月3日(日・祝) 10時~14時
▽場所 あじま作業所(北区中味鏡2-1023)
▽内容 模擬店、地域の野菜、生活雑貨、催しもの等、盛りたくさんのイベントをご用意しております。みなさまのお越しをお待ちしております。また、遊休品を募集しています。(使用済み・ガラス製品・衣類は不可)

▽問合せ 社会福祉法人 楠福社会
あじま作業所第二

☎ : 901-6338
(月~金(祝除く): 9時~17時)
担当: 北村



北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」
新時代に輝け!! 笑顔いっぱい
● 第11回メンタルネットきたみんなの音楽祭 ●

こころの病や障がいを抱えながら、地域で頑張っている人や、それを支える家族、ボランティアの音楽好きの仲間が集い、楽しく音楽祭を開催します。こころのこもったやさしい音色を届けたいと思っています。どなたでも観賞できます。ぜひお越しください♪

▽日時 日時 9月5日(木)
12時~15時(受付11時30分~)
▽場所 北区役所 講堂(北区役所 2階)
▽参加費 無料
▽主催 北区自立支援連絡協議会 精神部会

北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」
▽問合せ ☎ : 917-5580 (どんぐりの家)



地域イベント情報大募集! お電話(☎915-7435)お待ちしております。

つながる

つなぐつながるでは、高齢者、障がい者、子ども、ボランティアなど当事者同士の「つながり」や、地域での「つながりあい」を紹介しています。
取材させていただいたのは、寸劇を通じて、認知症への理解を深めるための普及啓発の推進を行う『劇団三季』です。
◆設立から現在まで
『劇団三季』は、平成29年、木立代表(以下木立さん)始め有志が、認知症の理解を深めるために、より身近に感じていただける寸劇を行うのがいいのではないかと考え設立。『劇団四季』を目指すべく『劇団三季』と名付け、現在、男性2名、女性6名で活動されています。
活動は、北区いきいき支援センターの依頼を受け、認知症サポーター養成講座など認知症の理解を深める講座にて『寸劇』を行っています。最近はずいぶん子どもたち向けに寸劇を行うこともありますが、そうです。
◆活気のある練習会
7月5日、味鏡コミュニティセンターにて、次の寸劇の練習会があると伺い、見学させていただきました。会が始まると、木立さんがメンバーに問いかけることから始まりました。「もし、自分が認知症になったら、あなたは友人・家族にどうしてもらいたいですか?」

問いに対し、メンバーは「できないことが少ずつ増えるけどできることをさせてほしい」、「一緒に手伝ってほしい」、「家族だけでなく、近所の方なども一緒に助けてくれたら嬉しい」など、思い思いの意見を発言されました。
その後、寸劇の練習を開始。本日の寸劇は、『「飯の食べ忘れ」』『財布を誰かに取られたら怖い』『一人歩きには理由がある』『デザイナービスを忘れる』などの演目。寸劇は、大まかなストーリーが決まっているものの、台詞を決めずに演じる方法で練習されていました。理由の一つ目は、メンバーの平均年齢が70歳以上のため覚えることが大変だからだそうです。『筋があっていいけれどいい』とし、台詞をあえて決めて、その場にあわせて言葉をつないでいきます。仮に台詞を言うことを忘れても、覚えていない人がフオロすればいいという雰囲気、メンバーの「覚える」ことのハードルを下げ、寸劇に参加しやすくなる工夫をされています。
また、2つ目の理由は、自然体で演じるため。「寸劇の目的は劇を楽しむため、自分と重ね合わせて自分の心を見て、自分と重ね合わせて自分の心

問いかけてもらうこと。」と木立さん。よくある認知症の家族の風景を切り取り、自然体の言葉、自分の言葉で演じてほしいからだそうです。練習では演じながら活発に意見を出し合い、熱く語りあひながら、良いものに仕上げていきます。寸劇の最後の言葉「さあ、あなたならどうしますか?」の問いかけの言葉が、一人ひとりの心に少しでも響くことを願って、何度も練習を重ねていらっしやいます。
◆メンバーの皆さんに伺いました
迫真の演技でひととき目立つAさんは、認知症カフェに遊びに行った時、寸劇の終わりにメンバーを募集していることを知り入団。「家にいるより、こうやって外に出て少しでもお役にたてて嬉しい」とお話しくださいました。会に入るまでは、人が苦手だったと話す演技派Bさんは、最初は演じる側でなく、裏方としてお手伝いするつもりで入団されたそう。しかし演技をしてみると、演技中は役が降りてくるようになり、寸劇を通じて、新たな自分を発見されたそうです。その他、この劇団に入ったことで認知症の方の立場を考えられるようになったという方、以前家族の介護をされていた方、ご友人に誘われた方など様々な方が様々な想いで参加しています。代表の木立さんから、「みなさん練習日



劇団三季のみなさんです
新規メンバー募集中!
北区西部いきいき支援センター
052-915-7545

の調整も難しい忙い方ばかりですが、認知症の理解を深めていただくため、お役目だと思ってやっています。これからもメンバーみなさんの力をお借りしながら、さらに良いものをお届けしてきたいと思えます。」と力強いお言葉をいただきました。
◆編集後記
見学中、キャストが足りないということに飛び入り参加させていただくことに。筋書きだけで台詞はないため、私の頭は真っ白に。そんな時、「もし私が認知症だったらどうしてほしい?」と自身に問いかける自分がいました。練習前の最初の問いは、自然な言葉をだすためのウォーミングアップだったので、みなさん楽しみな真剣に演じておられました。演じる側の思いは見る方に伝わっていると感じました。北区が認知症にやさしいまちになるように、これからも様々な所で活躍し続けていたいただきたいと思います。



<http://www.kitashakyo.jp/>
ホームページから
カラー版をご覧ください